

## 銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役  
橋本 健一郎

## 10月の銅の概況及び11月の見通し (3)

## 【伸銅品生産】

伸銅品生産は前年比-1.1%の6万7,066 tで4か月連続減少。

内需5万5,959 t、-0.2%、4か月連続マイナス。  
輸出1万1,107 t、-4.4%、4か月連続マイナス。  
銅条2万2,450 t、-0.2%、4か月連続マイナス。  
黄銅棒1万4,689 t、-4.6%、2か月振りマイナス。

## 【電線】

前年比-5.5%の5万6,900 t。うち国内-3.9%、輸出が-36.8%。通信-1.6%、電力-4.4%、電気機械-7.8%、自動車-6.1%、建設電販-1.7%、その他内需-2.4%。

## 【輸出】

電気銅輸出が+19%の4万9,895 t。銅スクラップは-20%の2万3,709 t。

## 【輸入】

電気銅が-84.2%の372 t。スクラップは-5.7%の9,484 t。

## 【見通し】

自動車は生産が-0.3%。国内販売台数が前年比+13%。生産は3か月連続マイナス。販売が大幅に拡大しておりこれが続くかどうか今後注目。

住宅着工の動向については、前年同月比で-1.5%と1か月ぶりマイナス。今後マイナス傾向が続くのか今後の動向に注目。

伸銅品は4か月連続減少。前年比-1.1%。需要の多い銅条4か月連続マイナス、黄銅棒は2か月振りマイナス、輸出4か月連続マイナス。微減ではあるが今後マイナス

が続くか注目。

電線は前年比-5.5%の5万6,900 t。輸出が-36.8%。需要の多い自動車、建設電販がそれぞれ-6.1%、-1.7%。建設電販が6か月ぶりマイナスに！

銅輸出は地金は円安から増加。スクラップは内需用途や中国環境規制から減少。

銅輸入はLME価格の上昇や円安を受けての割高感から減少。

## 【スクラップ景況予想】

流通在庫は月初の建値75万から一時78万まで上昇したが再び72万まで下落、現在76万まで回復した。そのため多少でてくるが問屋の塩漬け在庫は建値80万時のものと言われておりでてこないのでは？

需要面に関しては足元の生産状況が横ばいから悪化減少。

購入意欲は高くはないが慢性的な原料不足で品費の良いスクラップは需要があるが、高値で購入したものは問屋の出し渋りが考えられ建値が更に上昇しなければ需給は引き締まるのではないかと？

## 【LME・為替予想】

今月は米中間選挙と米中貿易戦争の動向に左右される。米中間選挙に関しては各種世論調査など結果からすれば上院は共和党が過半数を維持する公算。下院では民主党が多数派を奪還する勢いとこのことで捻れ国会になる可能性が高い。

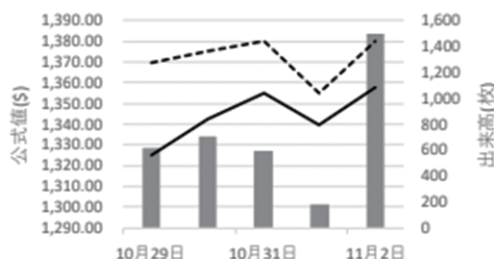
米中貿易戦争の動向に関してはトランプ米大統領が中国との貿易合意の草案作成を要請したとの報道があり、米中貿易摩擦の解決に対して何らかの妥協策がでてくるのではないかと？

これらを踏まえた10月の銅価格は米中間選挙でトランプ共和党が勝利し、米中貿易戦争で何らかの前進がみられた場合6,400ドル付近。両条件が揃わなかった場合現状からもう一段安の5,900ドル付近まで下落するとの予想。

ドル円値は111円~114円(TTM)台を予測。

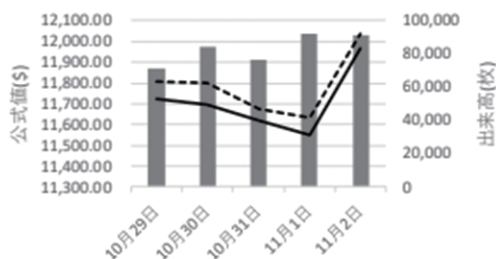
銅建値に関しては700~770円程度と予測している。

LME北米特殊アルミ合金



■ 出来高 — 直物 - - - - 先物

LMEニッケル



■ 出来高 — 直物 - - - - 先物